

JavaServer Templates「Mayaa」の開発と世界発信 —WEB デザインと Java プログラムを美しく分離する—

1. 背景

Java による WEB アプリケーションの開発では、標準として制定されている Servlet と JSP を組み合わせ、もしくはそれらを前提とした OSS のフレームワークとして、Struts などの WEB ミドルウェアを用いるようになっていきます。

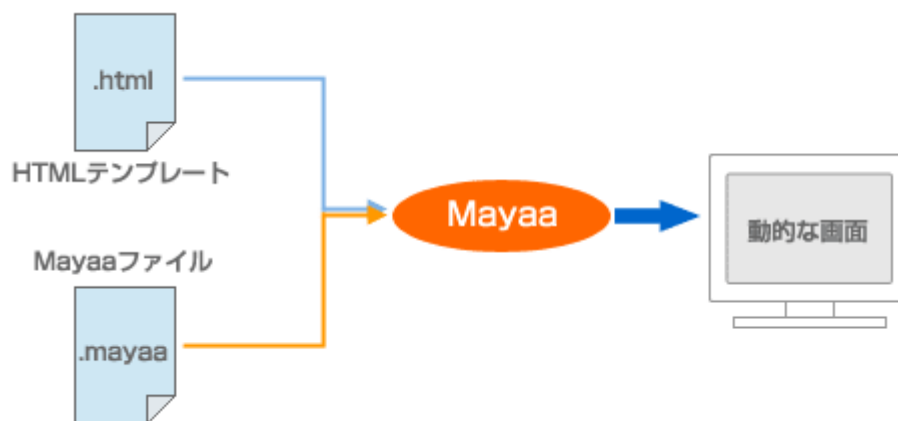
2. 目的

OSS にて、Java 製テンプレートエンジンを開発し、デザイナーとプログラマーの協業を可能とする分離を美しく行う一方、既存資産をフルに行かせるソフトウェア、「Mayaa」(注:申請後、商標問題への配慮より名前を変更)を開発する。

また、普及を促進するための、WEB 情報サイトの充実等を積極的に行っていくことを目的としました。

3. 開発の内容

Mayaa の基本的な使い方では、HTML テンプレートファイルとそれに対応する設定ファイル (拡張子 .mayaa) の2つを元にして動的なページを生成します。HTML テンプレートの動的な部分に id 属性で印を付け、その id に対して設定をする形になります。

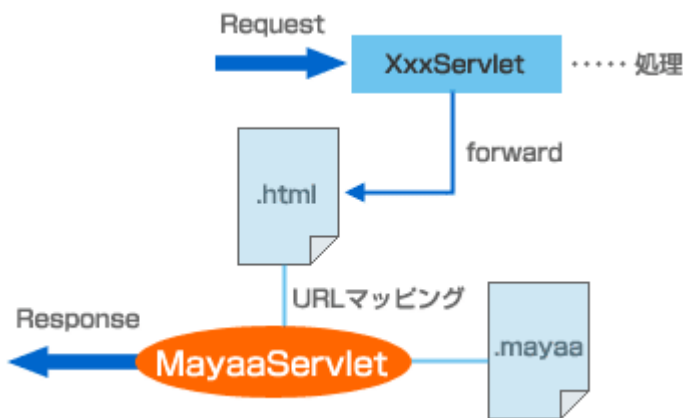


テンプレート型ビュー技術としての Mayaa の主な特徴は次の4点です。

- テンプレートとして使えるファイルは HTML、XHTML、XML
- 設定ファイルを使う方法、使わない方法があり、両方の混在も可能
- Java オブジェクトを操作する言語として JavaScript を採用
- JSP カスタムタグを使う

Mayaa の機能範囲はビュー技術のみですので、通常使う際は何らかの Servlet から

forward して使うことになるでしょう。



4. 従来の技術 (または機能) との相違

J2EE 標準の Web アプリケーション用ビュー技術は JSP (JavaServer Pages) です。しかし JSP はビュー技術として致命的な欠陥を持っています。

1. ビューとロジックとが切り分けられていない
2. 実行しなければデザインの確認ができない

1 番目の問題は JSP カスタムタグの登場によって軽減されましたが、2 番目の問題は未だに軽減すらされていません。そのため Web デザインを変更しづらく、Web デザイナかプログラマ、もしくは両者に負担がかかることになります。

最終的に出力するものは HTML 文書ですから、HTML ファイルをテンプレートとして使えば上記 2 番目の問題は解決するはずです。それは自明ですから、HTML ファイルをテンプレートとする技術はいくつも登場しました。

しかしそれらの技術には JSP の代替として扱うには何かしら致命的な難点があり、決定的なものはありませんでした。難点をいくつか挙げると、たとえば次のようなものです。

- 独自タグが必要なため HTML オーサリングツールを使えない
- 制御用に特殊な文字列を埋め込むためデザイン確認に難がある
- ミドルウェア部分と一体になっているため他のミドルウェアを選択できない
- 独自技術のため JSP カスタムタグの資産を使えない

Mayaa は JSP の代替として使えるよう設計されました。既存の HTML テンプレートエンジンの難点を解決し、JSP を前提としているフレームワークと組み合わせやすくなっています。

す。

- テンプレートは HTML ファイルなのでブラウザでプレビューできる
- 独自タグを使わないため HTML オーサリングツールを使える
- 制御用に特殊な文字列を埋め込む必要はない
- 利便性のため特殊な属性を埋め込む使い方もできる
- ビュー技術のみを役割とするため好きなミドルウェアを使える
- JSP カスタムタグをそのまま使える

この中でも JSP カスタムタグを使えることは、既存のテンプレートエンジンにない特徴的な機能です。これによって、JSP の代替として使うときに過去の資産を活用できるようになります。

5. 期待される効果

Mayaa はすでにエンタープライズの WEB アプリケーション開発案件に多数利用され、開発工数の削減とともに、デザイナーとプログラマーの協業のための作業分離を実現しています。今後、WEB の更なる発展の中、機能だけでなくデザインが重視された WEB アプリケーション開発が重要となることに疑問は無く、Mayaa はその流れの中、大きな位置をしめていくことが期待されます。

6. 普及 (または活用) の見通し

特定非営利活動法人 Seasar ファウンデーションにて配布。Seasar はすでに日本でも最大級の OSS 開発コミュニティに成長しており、Mayaa もその枠の中、広く普及していく見込みです。

7. 開発者名 (所属)

開発代表者	栗原 傑享 (株式会社グルージェント)
共同開発者	本杉 伊未 (株式会社グルージェント)
共同開発者	圓尾 俊介 (株式会社グルージェント)
共同開発者	荒波 一城 (フリーランス)

Mayaa 公式サイト: <http://mayaa.seasar.org/>